

# 下野新聞

しもつけ

発行所 宇都宮市昭和1丁目8番11号  
〒320-8686  
下野新聞社  
電話 028-625-1111  
郵便振替口座 00180-1-623433  
©下野新聞社2017

# 県南・両毛版

SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE SHIMOTSUKE

## 「地域ケア」発信し100回

### 発足17年、多職種で連携

#### 栃木の研究会

【栃木】地域ケアを推進しようと、医療福祉など多職種の有志が参加する研究会「蔵の街コミュニティケア研究会」(大澤光司代表世話人)が隔月で開いている定例会が今月、100回を数えた。保健医療福祉に関する知識を学び、地域のネットワークをつくらうと発足して17年。誰でも自由に参加できる仕組みで活動を続けて、専門の枠を超えた連携を深めてきた。

(江戸美佐子)

#### ネットワーク構築 懇親も

同研究会は介護保険がスタートした2000年4月、医師、薬剤師、介護の専門職、行政などの関係者ら地元有志8人が発起人になって発足した。

定例会は、主に偶数月の

野の専門職らの講演会や施設見学会、福祉用具などの

体験会、介護をテーマにした映画上映会などを実施してきた。



100回の節目となった蔵の街コミュニティケア研究会の定例会

入会金や年会費はなく、参加費1回500円。事前申し込みも不要で、興味があるテーマや都合がつく場合に誰でも自由に参加できる仕組みを取っている。毎回40〜50人が参加。研究会後には割り勘で懇親会を開いており、参加者同士が気さくに顔をつなぎ情報交換する場になっている。

「結果を求めずとにかく続けよう」とやってきたが、相談できる相手がたくさんできるようになったし、同じような会が市外にもできた」と大澤さん。

100回目となった13日は、初回講師

を務めた小山市の医療法人アスムスの太田秀樹理事長が「コミュニティケアが文化を変える」と題して「これからの超少子・超高齢人口減少社会では、医療の役割がこれまでの急性期医療から看取り医療に変わる必要がある」などと講演し、約50人が耳を傾けた。

大澤さんは「次は200回を目指したい。栃木の地域包括ケアをよりよいものにしていきたい」と話している。